

きょう、私たちは歴史的で、前にも後にもない2013年、基元節から始まったこの一年を締めくくりながら、新しく始まる2014年、新しい時代を新しい希望とともに迎えられるように準備をしています。

ところが、私たちの周辺で起きていることに対し寒心に堪えません。なぜ、人類歴史はこのように困難をもって展開するのでしょうか。悠久なる歴史を通して、良心作用によって善を追求してきましたが、今日の世界は、人種、宗教、思想、領土、国境、防衛等の諸問題を抱え、想像もできなかった複雑な時代に処しています。

しかし、私たちは黙ってとどまっていることはできません。創造主であられる天の父母様が、休むことなく摂理歴史をなしてこられたことをよく知っています。問題は、人間が原理軌道から脱線したために、自ら本来の軌道に戻ることができる蕩減復帰歴史が必要でした。それは人間自らでは解決できない難問題でした。キリスト教においては、メシヤ思想が私たちの最終的な期待です。では、メシヤはどのようなお方ですか。メシヤは、間違った人間の全てを新しくしてくださる方です。それゆえ、メシヤは『真の父母』として来なければなりません。墮落に陥った人間を、もう一度生んでくださらなければならないということです。このような過程なしに複雑な人類歴史が收拾される望みはありません。

この国に責任をもつ為政者の皆さんは、自分の利益を中心として考えるよりも、どのようにしたら国を愛し、民を愛することができるのかと少し考えてくださればと思います。このような点で、平和大使の皆さんが創設してくださった(自然災害を防ぎ、家庭倫理の確立を図る)平和軍と平和警察の使命は重要です。全世界で平和大使たちが先頭に立って平和世界に向かう道に案内しなければなりません。考えてみてください。周辺の国々に、天を愛し、民を愛し、国を愛する心があつたならば、欲心を満たすようになりませんか。私たちは北東アジアの情勢を憂慮しています。一度、このように考えたらどうでしょうか。イザヤ書第2章4節には、槍や剣を溶かして鉞や鎌を作るようになる時に平和世界が成されるという一節があります。私たちは最近、中国から飛んでくる黄砂と微細塵(微小粒子状物質)によって健康を脅かされています。聖書に書かれているように、軍事費として浪費している天文学的なお金の3分の1を投入して、砂漠化、焦土化しているその地に植樹運動、沃土化運動を行うならばどうなるでしょうか。中国の人が生きていく道を見つければ、国は富んで強くなるでしょう。それなのに、なぜ破壊力を持つ軍事にことごとくお金を使う必要があるのでしょうか。このような運動を通してアジアの国々が、『愛天・愛人・愛国』の心情で一つになるならば、世界平和はアジアから世界へと間違いなく伝播されていくでしょう。世界の全ての国々は、兄弟の国として真の父母様を迎える位置に立たずして一つの世界となることはできません。父母の前に子女たちが互いにために生き、愛し合う兄弟のような心情文化を成してこそ、世界平和が可能です。このような人生を生きながら行くべき所が永遠の世界、天上天国となるのです。

私たちの肉身による生活は長くても100年くらいでしょう。地上生活は、創造主であられる本来の主人、天の父母様の所有物をお借りして生きているのが現実です。私たちは所有権を主張できないということです。借りている立場であり、よく使用しながら生き、天が願う姿で天の前にお返ししてこそ、あの世で永遠の自由と平和と幸福を享受できることを実感できればと思います。

そのような生涯を生きるために、私たちはどのようにしなければなりません。立ち上がらなければなりません。走って出ていかなければなりません。飛んでいくことができるなら、そのほうがもっと良いのです。

私たちに残された時間は多くありません。私たちが地上で天のみ旨を成してさしあげ、天の父母様に『ありがとう』、『誇らしい私の息子であり、娘だな...』とおっしゃっていただけるようにならなければなりません。天の願いであり、人類の望みを成してさしあげるその日のために、みな一緒に力強く勇進しましょう！

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします  
 神様と真の御父母様の祝福が共にありますよう。お祈り致します

1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとございます。

2、京都教区 清平役事19周年記念特別大役事ツアー

日程:2014年1月17日(金)~1月20日(月)

清平大役事参加、「野牧教会」訪問、市内観光など

3、京都教区新年出発式

日時:1月7日(火) 10:30~

場所:京都教会

4、京都セミナー(二日修練会)

日程:1月11日(土)・12日(日)、1月18日(土)・19日(日)

1月25日(土)・26日(日)

場所:サン・アカデミー京都

【1日目】13:30~20:00(13:00受付)

【2日目】10:00~16:00(9:30受付)

5、しあわせ講演会

毎週金曜日 10:30~、14:00~ 場所:サン・アカデミー京都

6、教区全体特別精誠祈禱会

毎週金曜日 21:00~ 場所:京都教会

7、VISION2020勝利の為の基台長及び区域長修練会

日程:1/12(日)~1/17(木)、2/6(木)~2/11(火)

8、清平修練会

1/4(土)~1/6(月)、1/10(金)~1/12(日)

☆1月は、霊肉界家庭出発修練会と清平役事19周年記念特別大役事が行われます。

◆霊肉界家庭出発修練会:1/4(土)~1/6(日)

◆清平役事19周年記念特別大役事

1/17(金)~1/20(月)

全国食口連合礼拝(予定)

4800億絶対善霊と天使たちの総動員役事

全世界食口伝道大会授賞式、聖物抽選イベント

先祖祝福式、先祖解怨式 所願成就祈禱会

天地人真の父母勝利解放完成時代

天地人真の父母勝利解放完成時代



京都教会

Holy Spirit Association For Unification  
 of World Christianity Kyoto Church  
 世界基督教統一神霊協会

教区長: 武藤 努 牧師

京都市右京区西院西高田町 6

Tel: 075-313-0539 / Fax: 075-325-2712

E-mail: son\_e2013@angel.ocn.ne.jp

京都HP: http://www.uckyoto.org/

## 式次第



執礼者：武藤努教区長

司会者：佐々木大作

開 会	.....	司会者
黙 禱	.....	全 体
※開会讃頌	..... 天一国の歌 .....	全 体
※敬 拝	.....	全 体
※家庭盟誓	.....	全 体
代表祈祷	.....	
讃 頌	.....	聖歌隊
み言訓読	.....	全 体
説 教	天一国民の責任	
※讃 頌	..... 聖歌 7 番 .....	全 体
※祝 禱	.....	教区長
※全体祈祷	.....	全 体
教会音信	.....	司会者
閉 会	.....	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

## 今週のみ言

これから基元節以降には、私たちは「ああ、私は体が悪い」と言うのではなく「私は健康だ」と言える心身と共に「幸福だ」と言える精神で天一国主人として責任を全うし、天地人真の父母様が2020年までに成そうとされる御旨、すなわち伝道を一生懸命にし、統一家が定着できるようにしてください。(2013.3.9「第1155回清平特別修練会」における大母様の御言)

天地人真の父母様が「私たちは天一国民として、原理を誇り、天地人真の父母様を誇り、私たちの生活を誇り、全てのことを誇り、たくさんの人々を伝道しなければならない」と話されました。天の父母様と天地人真の父母様の摂理を2020年までに定着させようと言われたので、それは「私の責任だ」と思わなければなりません。伝道において先頭に立たなければなりません。誰かがしる言っしてするのではなく、また、誰かがしないからといってしないのではなく、自ら伝道しなければならないのです。

皆さん、摂理の中で主人になってください。主人になり、教会に行って、食口たちが教会にあまり来なかったら心配もし、連絡もしなければなりません。また、伝道がうまくいっていなければ、伝道しようと思う心と雰囲気をつくることのできる食口になってください。そのような皆さんの生活になって、2020年には数多くの人々がここに来て、もう一度天地人真の父母様を迎えて祝祭の日を迎えることができる皆さんの生活になってくれるように願います。私たちはなせませす。(2013.3.31「第1158回清平特別修練会」における大母様の御言)

2020年まで伝道しなければなりません。各国ごとに2020年までの伝道目標が設定されました。ですから食口たちが伝道に没頭しなければなりません。伝道に狂わなければなりません。「他の人がするだろう」という思いを持つてはいけません。2020年までに世界的に何人伝道しなければならないということが出ているので、その内容を持って皆さんが責任感を感じなければなりません。(2013.4.6「第1159回清平特別修練会」における大母様の御言)

## 統一運動

梶栗玄太郎会長 聖和1周年追慕礼拝を開催

天暦11月25日(陽暦12月27日)午前10時半から本部教会の礼拝堂において、梶栗玄太郎・日本統一教会第12代会長の聖和1周年追慕礼拝が行われました。

梶栗玄太郎会長は、昨年12月26日に聖和(逝去)。享年75歳でした。梶栗会長は2009年7月14日、第12代日本統一教会会長に就任。日本統一教会の社会的評価や信頼を高めていくために、教会の組織強化を図り、牧会者および信徒の信仰指導、後輩育成のため尽力されました。

梶栗家庭を代表して長男の梶栗正義・宇宙平和連合日本事務副総長が証をし、梶栗会長の生涯に対して、「本当に天に導かれた生涯だった」と回顧。また、梶栗事務副総長が最近、韓国にある文鮮明師の墓前で祈祷した際、「(梶栗会長や文鮮明師は)脈々と私の中に生きている」と実感したエピソードなどを披露しました。

全体で献花をした後、徳野会長が説教。まず梶栗会長に対する感謝と尊敬の拍手を促した後、梶栗会長の生涯はまさに「信仰の武勇伝」であったこと、梶栗会長の「家庭人としての素晴らしさ」について証しました。また、2012年に韓鶴子総裁が来日し巡回講演をされた際、梶栗家庭が一体となっている姿をご覧になった韓総裁が、「梶栗家庭に感動した」と感想を述べられたことを紹介しました。

続いて、宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長は特別メッセージの中で、梶栗会長のみ旨のために命懸けで生きていく姿を目の当たりにし、「(梶栗会長の)信仰姿勢に感嘆せざるを得なかった」と感想を述べ、「梶栗会長は“絶対忠誠”と“孝子”のモデルを見せて下さった」と称賛。宋総会長は、「梶栗会長の前に『私たちが勝利します』という覚悟と決意を持って、新たに出発することを願います」と参列者に訴えました。

全体で聖歌を讃美し、主礼の徳野会長夫妻が祝禱。最後に、家族を代表して惠李子夫人が感謝の言葉を述べ、「主人は国のために闘ったが、家庭を愛することを忘れませんでした」と梶栗会長の家庭的な一面にも触れました。惠李子夫人が「(現在も梶栗会長に対して)恋しい思いが募って…」と涙ぐむ姿が、参列者の涙を誘うなか、式典は閉会となりました。

